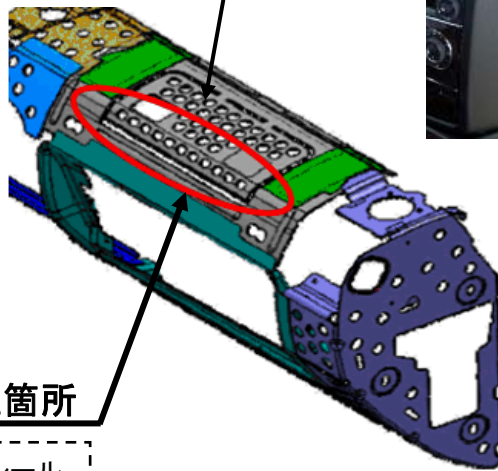


改善箇所説明図



エアバッグ・カバーパネル



不具合発生箇所

セレーション・レール

注： は改善作業を行う部品を示す

内装の内部部品であるセレーション・レールにおいて、エアバッグ・カバーパネルとのスポット溶接が不適切なものがあるため、助手席側のエアバッグシステムが衝突を検知して作動した場合、エアバッグの膨張過程で当該部品がエアバッグ・カバーパネルから外れてしまうおそれがある。最悪の場合、外れた当該部品が乗員に当たる可能性がある。

改善の内容

全車両、セレーション・レールとエアバッグ・カバーパネルをリベットで締結する。